

個別療法（児童発達支援・放課後等デイ事業共通）

児童発達支援センターからがもの児童発達支援・放課後等デイサービス事業において、お子さま一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、その子に合わせた小集団での支援と合わせて個別療法（作業療法・言語療法）とによる発達支援を受けることができます。

作業療法



作業療法士により、遊びや日常生活の活動を通じて、感覚・運動機能、認知能力、対人関係能力、自己調整能力などの発達を促し、お子さまが主体的に生活や社会参加を行えるよう支援します。

家族支援（個別面談・グループワーク）



児童発達支援と放課後等デイサービス事業では、家族支援の一環として保護者の方と「個別面談」と「グループワーク」を行っています。個別面談では、子育ての悩みや不安を職員が1対1でじっくりとお話を伺い、共に歩む支援を考えます。グループワークは、同じ悩みを持つ親御様同士が気軽に情報交換やリフレッシュをできる温かい場です。一人で抱え込まず、安心してお気軽にご参加ください。

シームレス（切れ目のない）な支援へ

計画相談支援事業



まずは、ご家族の思いやお悩みをじっくり聴くことから。お子さまとご家庭に最適な一歩を一緒に考え、これからの安心をカタチにします。

対象：受給者証をお持ちのお子さまの保護者

保育所等訪問事業

【保育所等訪問支援とは？】

こども園、保育所、幼稚園、学校などに専門職員が訪問し、集団生活に適應できるようサポートするサービスです。

お子さまへの直接的な支援（行動観察や個別支援）のみでなく、訪問先の先生方へ具体的な関わり方や環境調整（間接支援）を行うのが特徴です。

施設間の連携を強めることで、お子さまがいつも過ごす場所で安心して「自分らしく」活動できるよう、環境を整えていきます。

対象：こども園・保育所・幼稚園・学校に通うお子さま

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・計画相談の4事業が連携し、成長の節目に寄り添う一貫した支援を届けます。

事業所名 児童発達支援センターからがも

センター長 吉田 一江

所在地 〒496-0043 津島市古川町三丁目64番

従業員数 19 人

配置職種 保育士・児童支援員・公認心理師・作業療法

士・言語聴覚士・栄養士・調理員・嘱託医

電話番号 0567(27)3915（からがも）

0567(25)8290（しらさぎ相談支援）

メール karugamo@nagami.or.jp

ホームページ www.nagami.or.jp/karugamo/

※本パンフレットの人物はイメージです



児童発達支援センター

からがも



からがもの運営方針

こどもの最善の利益を大切にします

保護者とともに育ちを支えます

「できた！」を増やします

地域とのつながりを大切にします

専門性の向上に努めます

- 一人ひとりのお子さまの気持ちや育ちを大切にし、その子らしく安心して育っていけるよう支援します。
- 保護者の方の不安や悩みに寄り添い、安心して子育てができる環境づくりを行います。
- お子さま自身が「できた！」と思える瞬間を大切にし、自信を育み、その喜びを人と分かち合い、人と心を通わせる力を育みます。
- 地域のつながりを大切にし、お子さまとご家族が安心して暮らせる環境づくりに努めます。
- 職員一人ひとりが学び続け、質の高い支援を提供します。

児童発達支援センターとして大切にすること

安心

お子さまも保護者の方も安心できる環境を整えます

尊重

お子さま一人ひとりの個性や思いを大切にします

成長

小さな成長を積み重ね 自信につなげます

連携

家庭・地域・関係機関と協力しながら支援します

専門性

専門的な視点から より良い支援を行います

こどもも家族も

安心できる居場所へ

児童発達支援センターのご案内

児童発達支援事業

「乳幼児期の大切な時期に、安心できる関わりの中で心と体を育みます。遊びや生活を通じて『できた！』を積み重ね、自信の土台を作ります。」

【対象】未就学のお子さま

【定員】20名

【開所時間】10:00-15:00

※時間は目安です。状況によって、時間は前後することがあります。

※行事や避難訓練などがプログラムの中に入ることがあります。「年間予定表」や毎月の「センターだより」で1日のスケジュールをご確認ください。



10:00 登所・朝の支度

時間にゆとりを持って登所し、親子で心を通わせる挨拶から一日を始めましょう。靴の脱ぎ履きや朝の支度は、焦らず子どものペースに寄り添い、手本を見せたり一緒にやったりしながら、生活習慣を根気よく育みます。

10:10 自由遊び（体を使って遊ぼう）

子どもの笑顔を観察し、お子さまの大好きな遊びを通じて親子で「たのしい！」気持ちを共有して人間関係の土台を築きましょう。体をしっかり動かして体と脳を目覚めさせ、次の活動へとつなげていきます。

10:40 はじまりの会・水分補給・親子ふれあい体操・排泄

歌や体操、おあつまり、排泄を通じ、見通しを持つ力や人間関係の基礎を育みます。保護者の方が生き生きと楽しむ姿や、体に触れて寝めることでお子さまに安心感や「できた！」実感を伝え、その子に合わせたスモールステップで生活習慣の獲得を促しましょう。

11:00 主活動

（感覚あそび・運動遊び・新聞遊び・制作あそび・どろんこあそび・水遊び・散歩・粘土遊びなど）

結果ではなく、お子さまの視線や表情、動きをみて、お子さまの状況を観察しましょう。「できた！」という実感を積み重ねることが、自己肯定感や自尊心を育みます。大人の関わり方や環境を工夫し、楽しい経験をお子さまと保護者の方とで共有しましょう。

11:30 食事・歯磨き・排泄・水分補給

食事は「楽しく食べる」ことが最優先です。自分で食べる意欲を大切に、食べられた達成感をお子さまと大人とが共有しましょう。食膳の準備、食後の片付けや歯磨きなど一連の流れを習慣づけ、1人ひとりに合わせて生活習慣の自立を促します。

12:00～ 帰りの支度・帰りの会・個別療法・保護者相談等

帰りの会では絵本の読み聞かせて楽しむための「座る」姿勢や、帰りの支度の自分で荷物を鞆にしまう、持って帰るなどの工夫を考え、日々の生活の中でもお子様自身が「できた！」経験を積み重ねていきます。



放課後等デイサービス

「学齢期に入っても、安心できる環境で自己肯定感を育みながら、自分らしく生活できる力や社会性をさらに広げていけるよう丁寧に支えます。」

日課

通常授業の日（平日）15:00-17:00

学校が休みの日（休日）10:00-15:00

15:00 送迎（学校まで送迎をします）

15:30 登所・支度

着替え・シール貼り・水筒かばん片付け等

15:55 はじまりの会・トイレ・おやつ

16:25 主活動

運動・散歩・制作・外遊び等

16:40 着替え・帰りの会・帰りの支度

17:00 お迎え・報告

（帰りはご家族の送迎となります）



食育（フルーツ作り）



誕生日会

放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス の 生 活

○放課後の生活で大切にしていること お子さまが安心して、笑顔あふれる楽しい場所であることを何よりも大切にしています。挨拶や着替え、お片付けといった毎日の生活習慣のなかで、お子さまが「できた！」という達成感や喜びを感じられるよう促し、自信や生きる力を育んでいます。また、お友だちとの関わり合いや生活を通じた中で人と人とのつながりを大切にしています。

○長期休暇の生活で大切にしていること 夏休みなどの長期休暇中には、一日を通して過ごす時間を活かし、普段の放課後にはできないような「特別で多様な活動」を取り入れています。具体的には、水遊びや買い物体験、昼食作り、お出かけなどを通じて、こどもたちが主体的に楽しめ、自立や意欲へとつながる環境をつくっています。どちらの生活においても子どものありのままの姿や興味関心、「やりたい」という想いを受け止め、一人ひとりの歩みに寄り添いながら、明日への活力となる時間を保障することを心がけています。

年間行事予定

4月	開所式	7月	すいか割り	10月	かるがも祭り	1月	新年会
5月		8月	水あそび	11月	社会体験	2月	節分豆まき
6月	家族参観日	9月		12月	クリスマス会	3月	修了式

*両事業とも共通です。年度によって、内容が変更になったり、時期がずれたりすることがあります。
児童発達支援センターかるがもでは、お子さまたちが興味のあること、安心できるものを通し、経験や楽しいと思えることを増やせるような日々の生活の延長線にある行事を行っています。

*個別支援計画の作成について

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業すべてにおいて、お子様を中心に、保護者の方と職員とが丁寧な支援相談を行い「個別支援計画」を作成します。この計画をもとに、発達支援や家族支援、地域支援をおこない、お子さまの成長を支えます。